

会 議 録

会 議 名	第4回環境審議会
開 催 日 時	令和8年1月7日（水）午前10時00分から12時00分まで
開 催 場 所	403集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：尾崎寛直会長、宮田博之委員、尾川和宏委員、竹中輝和委員、長瀬雄一郎委員 欠席者：金井一三委員、松浦光明委員、佐々木善男委員、渡辺開波委員、上原恵美委員 事務局：環境課長、環境保全係長、環境保全係主任
議 題	1 答申（案）について 2 その他
結 論	議題1：答申（案）について、原案について決定する。
審 議 経 過	<p>報告事項 （1）第3回武蔵村山市環境審議会会議録について（異議等なし）</p> <p>（2）武蔵村山市第三次環境基本計画（素案）について －事務局から素案の修正内容を説明－</p> <p>● 32ページの「学校におけるビオトープの維持管理・活用」の削除は、現状より拡張性がない以上やむを得ないと考える。35ページの農地保全も、農業基盤の整備・改善を推進から、有効活用という表現に修正されたことも産業観光課の計画との整合性という点で理解できる。ただし、36ページの指標については、10月の委員会で「1割程度は増やす」として180人を目標にしたにもかかわらず、高齢化を理由に「維持」へ下げたことは残念である。</p> <p>また、学校給食における地元産食材の活用も大きな変更点である。従来は「使用品目数」で目標設定していたが、本来は「使用量」を増やすべきとの議論を行い、令和6年度の22%から10年後に25%まで高める目標を想定していた。しかし、市の上位計画である長期総合計画で既に「品目数」の目標が採用されており、整合性を求められた結果、「20品目」に戻った。審議会として、今後の5年見直しの際に量的拡大を目指す目標へ再修正できるよう市長に提言したい。</p> <p>○ 市は将来の人口動態をどのように見込んでいるのか。</p> <p>□ 10年後のモノレール延伸により人口増または現状維持を期待しているが、多摩地域全体では減少傾向である。延伸後の駅周辺開発には期待がある一方、農地減少や高層マンション建設など、不透明な要素も多い。</p> <p>○ 人口減少と高齢化が進む中で、ボランティア人数を維持するだけでも難しいことは理解できる。しかし、単に難しいとするのではなく、例えば平均年齢を下げるなど、未来志向の目標が必要ではないか。教育部門と連携し、子どもの参加によって課題を解決する仕組みを考えるべきである。</p> <p>○ 学校給食についても、農家の減少や単価の問題はあるだろうが、地元で努力している品目を応援し、多少単価が上がっても市民や子どもたち</p>

- ：会長
- ：委員
- ：事務局

が意義を感じられるような前向きな目標にすべきである。

- 学校給食課としては地場産物を使いたい考えではあるものの、農家側の供給量確保が難しいという現実的課題がある。意見は、今後の検討課題としたい。
- 54ページの担当課の修正について伺いたい。「関係各課」とすると、毎年環境報告書作成時にどこが責任をもって報告するのか曖昧になる。「施設課及び関係各課」とすべきではないか。
- 庁内の調整会議では、道路や区画整理など施設課が関与しない事業もあるため、施設課のみとするのは適切でないとの意見が出た。今後は環境課が全庁で調査を行い、情報を集約する運用を徹底する。
- 重要なのは、どこが旗振り役になるかである。事前調整がないまま、完成後に報告されるだけでは、地域特性を生かした景観づくりはできないのではないかと。
- 計画策定後は各課に周知を徹底し、景観への配慮を求めていく。例えば、モノレール沿線では周辺環境との調和、狭山丘陵周辺では自然に配慮した色彩とするなどの対応が考えられる。
- 45ページのグリーン購入も担当が「関係各課」となっているが、環境課が音頭を取る、すなわち全体をリードする役割を担うべきではないか。
- 文房具などの消耗品は各課が個別予算で発注しており、環境課が全ての購入実績を把握することは難しい。
- 環境学習について、年6回という目標を、地域ごとに実施するなどして増やすことはできないか。
- 来年度の環境保全係は3名体制となる予定であり、準備も含めると現状の年6回でも相当な負担である。
- 環境指標の目標値については、今後の年次報告の中で引き続き議論していきたい。皆様からの御意見は、私から市長への提言に含めることを前提に、この内容で承認していただきたい。第三次環境基本計画は、これまでの計画と比べて格段に充実した内容となった。皆様の協力に感謝する。今後は議会の承認を経て、来年度から動き出すことになる。内容についての審議は以上で終了とする。

(3) 武蔵村山市第三次環境基本計画（概要版）について

- ―事務局から素案の修正内容を説明―
- 概要版3ページの「将来の望ましい姿」は非常に良い内容である。行政は現実に縛られがちだが、予算や人員を適切に配分し、この将来像を実現するには何が必要かという視点で、上位計画や関連計画も含めて目標を設定してほしい。
- 将来目指す武蔵村山市の姿を実現できるように今後取り組んでいくことになるかと思うが、表紙の写真はそれを示すような写真が良いと思う。河川や地域の清掃に地域の人々が参加していたり、農産物を市民が買い求めていたり、里山での活動に市民が参加しているようなイメージが示せると良い。
- 今回は本市の環境が狭山丘陵に象徴されることから、緑の風景を最初に掲載し、地球温暖化対策としての太陽光発電パネル、町なかをきれいにしていくクリーン作戦の様子を入れている。ご意見は次回の計画策定の際に参考にさせていただく。
- 市民が参加している写真があると、ボランティアが不足している問題への対応にもなるかと思うので、掲載を検討いただきたい。
- モノレールの画像が表紙にあっても良いように思う。
- 今回は環境という面にクローズアップさせていただいた。

	<p>(4) 武蔵村山市環境行動指針（市民編・事業者編）について －事務局から環境行動指針の内容を説明－</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今の説明内容について、ご意見等あればお願いしたい。 (意見等なし) <p>(5) 意見公募（パブリックコメント）の結果について －パブリックコメントの結果について事務局から説明－</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> パブリックコメントでは、1名から4件の意見が寄せられたが、いずれも計画内で対応済みである。 <input type="checkbox"/> 残堀川の治水対策については、都の管轄であることを明確に記載すべきである。 <input type="checkbox"/> 市として都への要望を検討する。 <p>議題1 答申（案）について －答申（案）について事務局から説明－</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今の説明内容について、ご意見等あればお願いしたい。 (意見等なし) <p>議題2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 環境学習について、東京都地球温暖化防止活動推進センターでセミナーを開催させていただく中で、出前講座も実施している。あきる野市では部課長向けの環境セミナー、青梅市で夏休み中に小中学生向けの公園と打ち水体験、年度内には某市で市民向けの講座も開催する。市も人員が限られる中で、サポートできる部分もあるのでご相談いただきたい。 <input type="checkbox"/> 今後ご相談させていただく。 ● 今後の予定について、昨年度までの年次報告が上がってくるので、来月に第二次計画に基づいた今年度の年次報告を審議することになる。引き続きお願いしたい。 <p>－以上－</p>
--	---

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ()	傍聴者： 2 人
-------------	---	----------

会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等：)
--------------	---

庶務担当課	環境部	環境課	(内線：295、296)
-------	-----	-----	--------------

(日本産業規格A列4番)